

検討の観点（「新編言語文化」2東書 言文 002-901）

項目		観点	特色・具体例
1	内容の選択・程度	<ul style="list-style-type: none"> * 学習指導要領の教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 * 基礎的・基本的事項の理解や習得のために適切な配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材は、幅広いテーマからバランスよく採録されており、かつ精選されている。また、現代文編、古文編、漢文編の各ジャンルとも「言語文化」にふさわしい基本的な教材が採録されており、「総合的な国語力」を培うのに適した教科書である。 ○「言語活動」が随所に設けられており、「書く」「読む」の指導を行うための教材が適切に用意されている。 ○教材末の手引きや、脚間が充実しており、教材に即して、基礎的・基本的事項をおさえながら学習ができる。脚注欄の資料は豊富であり、解説が丁寧なので、生徒の確実な本文理解に役立つ。 ○古文編、漢文編では、導入部分が非常に丁寧に構成されており、基礎的・基本的事項が確実に学習できるように配慮されている。
2	組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> * 内容の組織・配列は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 * 分量は学習指導を有効に進められるように考慮され、精選されているか。 * 中高の接続に対する配慮がなされているか。 * 弾力的な取り扱いに対する配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ジャンル別の単元構成になっており、現場の指導の実態に合った扱いやすい教科書である。読む力を伸ばすことに重点を置きながら、「書く」の指導が、効果的に行えるように考慮されている。 ○現代文編、古文編、漢文編とも、短くて親しみやすい教材が取り上げられており、生徒が意欲的に取り組み、国語の力が確実に身につくように工夫されている。また、分量も適切である。 ○現代文編の手引きやコラム、古文編と漢文編の導入単元では、中学校での学習事項の確認のための教材が置かれており、中学校から高校の学習へのスムーズな移行に対する配慮がなされている。 ○教科書教材に関連した参考資料が効果的に配置されており（p229、236 など）、生徒の実態に応じて弾力的に学習を深めるための配慮がなされている。
3	表記・表現及び指導に対する工夫や配慮	<ul style="list-style-type: none"> * 学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 * 用語・記号の取り上げ方や記述の仕方は適切か。 * 生徒の自学自習への配慮や工夫がなされているか。 * 指導書や周辺教材での工夫や配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現代文編では、定評教材を軸にしながらも、現代の作者や筆者の作品も積極的に採録されており、生徒の学習意欲が高まるように配慮されている。明治以降の文体や小説の成立、小説の冒頭部分の工夫について解説したコラム「現代文の窓」が設けられているほか、読み方コラム（p49、57、61 など）では、文章の種類に即した読解の仕方が分かりやすく示されるとともに、本の紹介の欄が設けられ、生徒に読書への興味を持たせることに効果的である。 ○古文編と漢文編では、学習内容とからめて古典の世界の理解を深めるコラム「古文の窓」「漢文の窓」が置かれている。また、視覚的イメージを用いた資料も豊富に、かつ効果的に配置されている。特に、巻末附録の「古典参考図録」は極めて資料性が高く、生徒の古典学習に対する学習意欲が高められるように工夫されている。 ○用語・記号は統一されており、記述の仕方も適切である。 ○巻末には附録として「読書案内」が用意されており、生徒の自学自習に役立つ。 ○教科書を支援する指導書や周辺教材などが充実しており、指導しやすく学習しやすい教科書である。
4	印刷・造本上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> * 印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。 * 環境保全や生徒の多様な特性に配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活字は鮮明で美しく、文字の大きさ、行間も適切で読みやすい。写真、挿し絵も鮮明で効果的である。 ○製本は堅牢で、軽量の紙が使用されており、生徒の負担に配慮されている。 ○図の色使いなどは、色覚特性への配慮を含むユニバーサルデザインとなっており、全ページにわたって配色が工夫されており、見やすい紙面になっている。 ○本文の用紙には再生紙と植物油インキが使用されており、地球環境や資源に及ぼす影響も考慮されている。

5	総合所見	* 上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴	○定評ある教材と新しい教材とのバランスを考えた現代文教材、古典学習を助ける導入部分の工夫、豊富な資料やコラムなど、学習指導要領の示す内容を現場で具体化するのにふさわしい教科書である。
---	------	----------------------------	---